



被災地の赤ちゃん和妈妈のために

東北すくすく プロジェクト 被災地母子支援

2013.02

<発行元> 東北すくすくネットワーク

レポート

「母乳育児学習会 in 気仙沼」開催

2月11日厳しい寒さの中、気仙沼において母乳育児学習会が開催されました。会場は母子支援に燃える女性たちの熱気に包まれました。

<開催日時>

2013年2月11日(月) 10:30-15:00

<開催場所>

ゲストハウス アーバン 気仙沼市本郷 22-5

<助成>

東京ロータリークラブ

<後援>

NPO 法人日本ラクテーションコンサルタント協会

<運営管理>

一般社団法人 東日本大震災被災地における地域医療を守る会、一般社団法人 裸足醫チャンプル

学習会開催趣旨

この学習会は、被災地母子支援「東北すくすくプロジェクト」の一環として東京ロータリークラブの助成により開催されました。本学習会は、主に被災地において母子支援に携わる人々の人材の育成、スキルアップを目的としています。そしてまた、被災各地よりこの学習会にご参加いただいた人々らによって支援の輪が広がり、被災地でより良い母子支援がおこなわれることを目指しています。

学習会講義内容

1. 体重が増えない赤ちゃんへの母乳育児支援

①理論編 高橋有紀子先生(小児科医・亀田総合病院小児科) ②実践編 新井基子先生

(助産師・日本ラクテーションコンサルタント協会)

2. 地域における母乳育児支援と歯科

青葉達夫先生(小児歯科医・青葉こどもと親の歯科医院)



会場となったゲストハウス「アーバン」

気仙沼市を流れる大川の畔にあります。被災地では会場を探すのも一苦労。「アーバン」は結婚式メインの会場です。そのため建物の壁にはハートの装飾があります。



学習会の講義風景

学習会はスクリーンとテキストを使って進められています。参加者の皆さんは真剣な面持ちで講師の先生のお話に聞き入っています。

レポート



母乳育児支援実践編のひとつコマ
二人一組でのロールプレイング。保健師役と母親役になり
切って・・・。



お母さんと一緒
母子参加の受講風景です。子供をあやしなからの勉強は
大変です。母子参加は別スペースで受講していただきます。
今回は3組の母子参加がありました。

参加者データ

47名

学習会参加者総数 (うち講師3名)

30名

宮城県からの参加者 (うち気仙沼11名)

さらに詳しくは

- 青森県.....2名
- 岩手県.....6名
- 福島県.....2名
- その他.....7名



46+1=47名
学習会参加者総勢47名のうち
男性は講師の青葉先生ただひとり
だけ。女性のパワーを感じます。

被災各地より参加

今回の学習会には様々な地域より総勢47名の
母子支援者にご参加いただきました。地元気
仙沼市内からは11名が参加。気仙沼市立病
院や気仙沼医師会付属看護学校、気仙沼市
民健康管理センター「すこやか」などから、近郊
では志津川病院からも3名の方にご参加い
ただきました。また放射能汚染という特殊な事情
を抱える福島からは国立福島病院の2名の方
にご参加いただきました。そのほとんどが被災地
からのご参加でしたが、中には東京からの参加
者もいらっしゃいました。今回被災地外からのご
参加をいただいたのは、被災地の現状を知って
いただきたいこと、支援者同士の情報交換をし
ていただくためです。被災地外からのご参加は7
名でした。

様々な立場の参加者たち

参加者のほとんどが医師や看護師、助産師など
の医療従事者でしたが、行政機関所属の看護
師や保健師、それに看護学校の教諭など医療
従事者とは立場の違う方々もいらっしゃいました。
中には一般の主婦の参加もあり、参加者の年
齢層も20代から60代と幅広くお越しいただき
ました。この学習会にご参加いただいた様々な
方々が連携し、被災地において、充実した母子
支援の環境が整うことを願っています。

Information

第2回母乳育児学習会 in 気仙沼
開催のお知らせ

<日時> 2013年5月11日(土)
10:30-15:00

<場所> 気仙沼ホテル観洋
宮城県気仙沼市港町4-19

<プログラム>

- ① 煙草を止められない母親への母乳育児支援
- ② コミュニケーション スキル
- ③ 補完食

<定期開催> ママサロン「おっぱい塾」

<日時> 毎月第2土曜日
13:30-15:30

<場所> 気仙沼市田中前 三条小児科

<内容> 母子の健康相談、ベビーマッサージ、
ヨガなどその都度内容は変わります。

お申込み・お問い合わせ先 e-mail
東北すくすくネットワーク事務局 千代田
yasunobu.chiyoda@gmail.com

Omake

今回の学習会には他の被災地支援団体「毛
糸のおっぱいプロジェクト」の出展がありました。



写真の「あむあむ
おっぱい」は被災女
性らによって気仙
沼で編まれ石巻
でタグ付けパッケ
ジされています。

<発行元>

被災地母子支援 東北すくすくネットワーク